

平成 29 年 8 月 1 日 第 1 回地球温暖化対策実行計画検討部会での意見要旨

質問・意見	市の考え方
市民・事業者アンケートは、すでに、実施しているのか。	今回は、中間見直しと考えており、補完的にアンケートを実施したいと考えている。現計画策定後の市民の意識の変化等を把握するため、前回と同様の項目について、市政モニターやイベントなど様々な機会にアンケートを実施することを考えており、すでに一部アンケートを実施している。
ヒートアイランド対策のモデル事業を実施したとのことであるが、具体的にどのような事業か教えてほしい。	環境省のモデル事業は、平成 25 年度からの 3 年間で実施したものである。モデル地区に岡本町地区が選ばれ、地域が主体となって、昔ながらの暮らしの知恵を使った取り組みとして、打ち水や緑のカーテンの取り組みを実施した。
アンケートでは、市政モニターや地球温暖化対策協議会委員を対象として実施するとのことだが、これらの方々は、地球温暖化に対して意識が高いと考えられるが、前回との比較をどのように行うのか。	地球温暖化対策協議会は、市と市内事業者とで設立したもので、事業者アンケートを実施する対象となる。 市政モニターは市政に対して関心の高い方々であり、環境に対しても意識が高い方が多いと考えられるが、既存の市の制度などを活用して市民アンケートを実施したいと考えている。
事業者アンケートは、前回は誰を対象として実施したのか。	前回は、市内事業者から 200 社を抽出し、アンケートを依頼した。今回は、協議会の構成委員 116 社に対して調査を行うため、重複する事業者はあると考えられる。
温室効果ガス排出量は、電源構成の変化などで増加したが、市民、事業者の省エネは進んでいるとのことであったが、どの程度、エネルギー消費は削減されたのか。	全体会の資料 2 のグラフで示したとおり、平成 26 年度の温室効果ガス排出量は、平成 2 年度比で 9.8%削減されている。
アンケートについては、前回と同様ではなく、項目を整理して、市民の方々が地球温暖化対策として、どういった取り組みをされているのかについて聞く必要があるのではないかと考える。	今回は、計画の全面見直しではなく、中間見直しと考えており、さらに、検討期間が限られていることから、前回と同様の内容について、アンケートを実施し、意識の変化等について把握したいと考えている。
国では、削減目標が設定されているが、どういった根拠で設定されたものなのか。また、市では、国の目標に合わせた場合の想定目標が示されているが、これまでの取り組み内容では、到底、目標を達成できないように感じる。この部会においても、より具体的な取り組みを提案する必要があると考える。	国の目標は、長期エネルギー需給見通しによる 2030 年の望ましい電源構成などを踏まえ、決定されている。家庭部門でみると、2030 年までに約 40%の削減が必要となるが、望ましい電源構成が達成されると、家庭におけるエネルギー消費量を約 20%削減することで目標が達成されることになる。これでも厳しい目標だが市では家庭部門における省エネ機器への更新や省エネの取り組みを促進していきたいと考えている。

質問・意見	対応の方向性
<p>目標の設定の際には、排出係数を固定するなど、取り組みの成果が見えることが重要である。一方で、排出係数を年度ごとに最新のものとし、実際にどれだけ温室効果ガスを削減できたか示すことも重要であり、目標設定には、工夫が必要である。</p>	<p>→ (対応の方向性)</p> <p>●委員の意見を踏まえ、本部会にて、改定計画の目標設定や施策の検討を行う。</p>
<p>計画を検討する際には、目標を立てて、それを達成するための取り組みをしっかりと検討する必要がある。</p>	
<p>国では、2050年の目標が設定されているが、市の計画では、ここ数年で、市民はどういった取り組みを行う必要があるのかを具体的に示す必要があると考える。</p>	
<p>「みんなで取り組みをしましょう」と呼びかけるだけでなく、具体的な取り組みを示し、それを広める人づくりが重要であり、部会ではこうした点を議論する必要がある。</p>	
<p>目標達成に向けた具体的な施策をこの部会で練り上げていく必要がある。</p>	
<p>難しいことではあるが、啓発活動を、幅広く、市民一人ひとりまで広げて行い、意識を改革しなければならない。</p>	
<p>環境ネットワーク会議では、環境家計簿「我が家のエコノート」の取り組みを行っており、200人以上の人に取り組みんでいただいているが、こうした方々に継続して取り組んでいただくことが重要だと考える。</p>	
<p>この計画は、市民の方々に向けた計画であり、取り組みの効果を具体的に示すことが重要だと考える。また、実施したことがどれだけ地球温暖化対策に貢献できているのかを示すことも必要だと考える。さらに、市民の方々に對して、取り組んだ実績がどれだけの削減につながったのか見えるようにすることが重要だと考える。</p>	
<p>市民、事業者の省エネが進んでいるとの説明があったが、2014年度で9.8%の削減ということで、現計画の29%削減の達成は厳しい状況にあり、さらに、取り組みを強化すべきところもあると考えられる。取り組みの強化が必要な分野などの分析は行っているのか、次回以降にお示しいただけるのか。</p>	<p>現在、現況推計や将来推計について、分析を行っており、取り組みの効果などとあわせて、現在、検討を進めている。</p>
<p>そうした検討結果は、いつ頃、提示いただけるのか。</p>	<p>間に合えば、次回の部会でお示ししたいと考えている。</p>
<p>温室効果ガスの削減は、事業者と市民どちらのウエイトが大きいと考えているか。</p>	<p>事業活動からの温室効果ガスの排出量も大きいですが、市の計画、その役割としては、家庭部門からの削減について、重点的に取り組みを行っていく必要があると考えている。</p>
<p>事業活動からの温室効果ガスの排出削減は、国による規制で、可能だと思われる。やはり、市民による取り組みを促進することが、市やこの部会で検討すべき事項なんだと思う。現計画では、そこがあまり見えていないのが残念である。</p>	<p>「計画改定の方向性」のとおり、家庭部門の削減の取り組み、啓発を強化する必要があると考えている。</p>
<p>次回以降に示される推計結果というのは、事業者の取り組みに対する推計なのか。</p>	<p>事業部門や家庭部門を含め、市域全体の温室効果ガスの排出に関する現況推計、将来推計をお示しする予定である。</p>

質問・意見	対応の方向性
個別の取り組みとしては、ごみの削減についても温暖化対策の 1 つとして、重点的に取り組む必要がある。	下水処理場は、市で所管していないため、計画でも温室効果ガスの算出の対象とはなっていないが、清掃工場から排出される温室効果ガスは、算出しているため、ごみ減量の計画での削減目標などから、削減効果などは分析できると思われる。
清掃工場や下水処理場は、多くのエネルギーを使用しており、対策を行えば、温室効果ガスの削減効果は大きくなる。しかも、市民の取り組みに直結するものである。	目標設定については、温室効果ガスの総排出量に関する項目も必要であるが、取り組みに対する成果が把握できるような目標もあわせて設定していく必要があると考えている。
目標については、温室効果ガスの総排出量も重要だが、取り組みに対する成果が把握できるような目標もあわせて設定してはどうか。	目標設定については、温室効果ガスの総排出量に関する項目も必要であるが、取り組みに対する成果が把握できるような目標もあわせて設定していく必要があると考えている。
こうした計画では、市民の方々に「自分たちがやらなければならないことだ」とわかって実践いただくことが重要だが、それが大変、難しい。枚方らしさを前面に打ち出すことができれば、わがまちのことと感じてもらえるのではないか。	目標設定については、温室効果ガスの総排出量に関する項目も必要であるが、取り組みに対する成果が把握できるような目標もあわせて設定していく必要があると考えている。
様々な意見が出されたが、こうした取り組みでどれくらいの温室効果ガスが削減できるといった数値は算出できるか。	目標設定については、温室効果ガスの総排出量に関する項目も必要であるが、取り組みに対する成果が把握できるような目標もあわせて設定していく必要があると考えている。
目標設定については、その妥当性についても検証する必要がある。	目標設定については、温室効果ガスの総排出量に関する項目も必要であるが、取り組みに対する成果が把握できるような目標もあわせて設定していく必要があると考えている。
これまでのみなさんの意見をお聞きして、比較的、効果的だと思われる取り組みの洗い出しと、効果に直結しにくいとしても、枚方の特性を生かして、市民啓発といった取り組みの両面から施策を検討していくことになると考える。	<p>→ (対応の方向性)</p> <p>●委員の意見を踏まえ、本部会にて、改定計画の目標設定や施策の検討を行う。</p>
マンションなどで、光熱水費が定額の支払いとしているケースは市内でどれくらいあるのか。この場合、省エネの経済効果が出ないため、取り組みが進まない。	市内の件数の把握は困難である。こういった料金体系があるのかについては、調査する。
計画の目標や取り組み内容というのは、2050 年という長期を目指して取り組むものなのか。短期間の設定で推移を見たり、取り組みを設定したりする必要があると思う。	今回の計画改定では、現計画の残り期間の 5 年間の計画について検討したいと考えている。
市の人口の推移はどうなっているのか。今回の計画では、人口の推計も考慮した形となるのか。	枚方市の人口は、現在はゆるやかな減少傾向にある。温室効果ガスの将来推計では、人口推計も考慮に入れることになる。
2050 年の目標というのは、あまりに先の目標で、具体的な取り組みなどをイメージしにくい。短期の目標や取り組みを設定することで、市民の方々も自分たちがすべき活動がイメージできるのではないか。	国の 2050 年の目標は、超長期の将来目標であり、計画は、今後 5 年間の取り組みと目標を設定していきたいと考えている。
計画は、現計画の残り期間ということなので、長期の目標も踏まえつつ、計画では、5 年間の取り組みを位置づけると考えていいのか。	はい。計画には今後、5 年間の取り組みを位置づけたと考えている。
この計画では、東部地域など、地域特性といったことは、考慮に入れないのか。	現計画でも、東部地域の緑の保全など、地域特性を考慮しており、本市の地域特性については、改定計画の中でも、網羅する必要があると考えている。
計画では、市によって地域特性は異なることから、一定、考慮する必要があるのではないか。	現計画でも、東部地域の緑の保全など、地域特性を考慮しており、本市の地域特性については、改定計画の中でも、網羅する必要があると考えている。
今回、様々な意見が出されたが、次回はこういった形で整理するのか。	次回までに、今回、いただいた意見をとりまとめ、対応の方向性をお示ししたい。

質問・意見	対応の方向性
審議会部会の意見については、今回は、基本的には現計画の改定なので、今後 5 年間で実施するもの、その後の次期計画に位置づけるべき方向性などに分けて整理する必要があるのではないか。	審議会部会の意見、提案は、改定計画の中で取り組めるもの、次期計画の検討事項といった形で整理していきたい。
やはり、市民・事業者アンケートは対象者をそろえておく必要があるように思う。	既にアンケートを実施しており、その集計結果を踏まえ、ご議論いただきたい。
この 5 年間の実績や状況の変化を踏まえ、アンケートを実施する必要があるように思う。	
資料は、少なくとも 3～4 日前には配布し、事前に確認する必要がある。事前に配布してほしい。	次回からは、3～4 日前には資料を配布させていただく。
直前であっても、PDF などのデータを送付してもらえれば確認できるのではないか。紙の使用量も削減できていないこともあり、会議もペーパーレス会議でもいいのではないか。	
資料は紙がいい。そのほうが確認しやすい。	